

国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会  
第16回会議議事要旨

- 1 日 時：平成30年7月19日（木） 15：00～15：40
- 2 場 所：国立感染症研究所村山庁舎管理棟2階 第一会議室
- 3 出欠状況：出席20名 欠席3名
- 4 議 題
  - (1) 我が国の感染症対策の強化のあり方に関する研究班（仮称）について（素案）
  - (2) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた国立感染症研究所の取り組みについて
  - (3) 前回協議会以降の取り組み状況について
  - (4) その他
- 5 資 料
  - 資料1 厚生労働科学研究の立ち上げについて（我が国の感染症対策の強化のあり方に関する研究班（仮称））
  - 資料2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた国立感染症研究所の取組について
  - 資料3 国立感染症研究所村山庁舎における地域との交流（前回平成30年3月15日の協議会以降）
  - 資料4 国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会 第15回会議議事要旨（案）
- 6 議事概要（○：質問・意見等 ●：回答・連絡等）

- 資料1の厚生労働科学研究の立ち上げについて説明する。この研究班を立ち上げる背景として、国際的に脅威となる感染症の対策は、国際的な協調のもとに実施するべきものであり、我が国も国際的な役割においてリーダーシップを発揮することが、期待されているということがある。また、国内対策としては、検査・サーベイランス体制の強化や新規ワクチンの開発を進めることが重要であると考えている。

このような状況の中、国立感染症研究所（以下「感染研」という。）においては、BSL4施設における検査体制の整備や感染症サーベイランス体制の充実等に取り組んでいる。

一方で、感染研は、施設・設備等も老朽化し、また、各庁舎が3か所に分かれており、非効率な面もあることから、今後、施設・設備及び組織のあり方について検討が必要である。

以上の状況を踏まえ、我が国及び海外の感染症に関する課題を調査・整理し、今後、感染研の機能強化が必要な事項を検証することとしている。

次に具体的な研究の内容であるが、以下の5本の柱を立てて、我が国及び海外の感染症に関する課題を調査・整理する。

- (1) より高度な管理が求められる病原体等の検査・診断体制の整備及び強化（世界各国のBSL4施設の立地や構造、人員配置等の比較調査も行う。）
- (2) サーベイランス、データ分析・解析の高度化に関する研究
- (3) 薬剤耐性（AMR）研究の強化
- (4) ワクチン・血液製剤の検定・品質管理及び新規ワクチンの開発推進
- (5) 感染研の研究基盤の強化

次に具体的なスケジュール（予定）である。本日、この協議会において、研究班の立ち上げについて説明した後、9月下旬には厚生労働省内の手続きを経て、研究班の立ち上げを行う。10月中には運営連絡協議会で研究班の立ち上げについて報告する予定である。

次に具体的な研究期間であるが、平成32年3月末までの1年半ほどで報告書として取りまとめたいと考えている。

○ ワクチン・検定体制の充実ということで、研究強化に取り組むとのことだが、ワクチンというのは非常に有効な部分と、マイナスの薬害というか副作用・副反応があるので、それは別の機関なりメーカーなりで対応することになるのか。

● 感染研は、ワクチンの検定検査の増加や、血液製剤への各種プロトコールの導入などに対応していく必要がある。今後、新たな技術、例えば有効性とか安全性の試験を実施できる検定法の開発について、研究班では安全性を確認するための研究体制を整えることを重点に置きたいと考えている。

● ワクチンは医薬品と違い、国家検定という枠組みで検査を感染研で全て行っているのだから、指摘のとおり、安全性に関して十分な体制が必要である。

一方で、ワクチンをなるべく早く国民の皆様にお届けすることが求められるので、感染研としては、その求めに対して応えることを考えている。

- 先ほどの副作用・副反応については、感染研も行うし、メーカーでも行うということか。
- 感染研が検査をするのは、ワクチンの製剤に関する安全性について、一定の決まった方法で検査することである。

一方で、ワクチンが投与されてから、どのような副作用・副反応が生じるのかということに関しては、使用した後の調査が行われ、そのデータは感染研にもくるので、そうしたことから安全性に関しての調査・研究を行っている。
- ワクチンは口から投与する薬剤と違って、いきなり血液に直接投与するものなので、本当に慎重の上にも慎重を期して、メーカーに対しても目を光らせてもらいたい。研究班については、施設の老朽化に対する対策と、今後の施設・設備及び組織のあり方について検討されるとのことなので、是非、国民の生命を守る良い施設を整備してほしい。
- 資料2の東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリ・パラ」という。）に向けた感染研の取組について説明する。2020年の東京オリ・パラにおいては、様々な国から多くの訪日客が見込まれ、日本で流行していない感染症やバイオテロの発生するリスクが高まることが予想される。このような状況に鑑み、感染研においては、骨太2018や未来投資戦略2018の政府文書の内容等を踏まえて、東京オリ・パラに向けて、サーベイランスの強化、検査体制等の充実・強化のための取組みを行っている。

サーベイランスの強化について説明する。昨年、東京オリ・パラに向けたサーベイランス強化に関する地方自治体向けのマニュアルを作成し、担当者に対して説明会を行った。また、現在、当該マニュアルに基づいて地方自治体が策定した、今後の対応方針案に対して個別の改善策を助言している。

強化を検討すべき取組について説明する。東京オリ・パラ組織委員会との連携の強化、地方自治体の支援の枠組みの検討等に重点的に取り組むこととしている。また、今後、具体的な内容を検討したいと考えている。

検査体制等の充実・強化について、現在の取組及び強化している取組について説明する。東京オリ・パラ期間中のバイオテロ等を想定し、より安全に、また、より正確に対応できるよう検査体制の整備を進めたいと考えている。強化を検討すべき取組は、輸入感染症に対する検査・診断システムの開発と整備等を行うこととし、今後、具体的な内容を検討したいと考えている。
- 資料3の国立感染症研究所村山庁舎における地域との交流について説明する。

- ・村山庁舎自衛消防訓練（地震を想定した訓練）を実施した。
- ・都立村山特別支援学校小学部・中学部の卒業式及び入学式へ出席した。
- ・武蔵村山市立雷塚小学校での航空写真の撮影（創立20周年記念事業）へ参加した。
- ・第43回感染研市民セミナーを実施した。
- ・東京都立村山特別支援学校 第1回学校運営連絡協議会（平成30年度）へ委員として参画した。
- ・学園自治会夏祭り開会式へ参加した。

今後、しののめ自治会夏祭りへ参加し、7月28日の一般公開の宣伝等を予定している。また、武蔵村山市総合防災訓練にも参加する予定である。

- 雷塚小学校での航空写真は、創立20周年記念ということで、校庭にキャラクターの下絵を描き、保護者・地域の方も一緒に撮りましょうという企画の中で、感染研からも参加してもらい、撮影したものであることを報告したい。
- 夏は冷房がフル稼働するわけであるが、そうすると冷却水は汚れてしまう。レジオネラ菌の発生ということが、現実には起きているような資料が過去にあったが、冷却塔はこの村山庁舎として何基あるのか、その清掃体制というものはどの程度の頻度で夏場は行うのかについて、教えてほしい。
- 正確な数ではないが、6基（実験棟分）ほどであったかと思う。定期的にレジオネラ菌に関する検査も行っていて、基準値以下であるかどうかを中心に検査をしている。今月は今年度の1回目として検査を行っている。
- 水の清掃、交換についてはどうか。
- 定期検査は年2回実施するが、その際に水質的に汚れが特に目立つときには、必要に応じて清掃等を行っている。
- 夏場は汚れるのが早いので、透明度が下がってきたら水を入れ替えるようにしないと、レジオネラ菌が発生して近隣に肺炎菌をばらまく等ということがありますので、冷却水については、目視で結構なので汚れがないように常時キープしてもらいたい。
- 今回、雷塚公園の雨水対策として市役所にもお願いしながら、水中ポンプを付けて、それにより感染研の敷地にある雨水枡で雨水を処理していただくことをお願いしたところ、快く受けていただきお礼を申し上げたい。

- 次に資料4の第15回議事要旨(案)についてであるが、本要旨(案)は、協議会の規程を踏まえて、個人情報などのプライバシー、防犯関係及び自由な発想の阻害等も考慮した内容で要点等をまとめたものになる。各委員におかれては、内容についてご意見等があれば、来週27日(金)までに事務局宛てご連絡をお願いしたい。ご意見等がなければ、(案)を削除して感染研ホームページに掲載する。
- 前回、要望として、BSL4施設で行われている業務について、いつどんなことを行っているのかということが、近隣住民にも分かるようにしてほしいという要望をしたところ、議事要旨(案)にきちんと書かれているので、よくまとめられていると思う。また、これまで幾つも実験を重ねられて成果が出ていると思うが、その成果を説明する予定はあるのか。
- 今、行っている実験等はまだ継続されているので、これまで説明していること以外の実験は行っていないが、現在継続中なので、その実験が終わり次第まとめて、できれば次の協議会には報告できるようにしたいと思う。
- 現在継続中の実験はまだ無理かと思うが、今までも2件くらい行っているので、そうしたものがいつ何回やったとか、日誌みたいなものが説明されないのかなと思っている。そうすると一目瞭然で、こんな稼働状況だというのがわかるが、その辺をぜひお願いしたい。
- 次回の委員会には、これまで実際に指定を受けてからBSL4施設の中で行われた実験について、その期間と内容と、その簡単な結果というか報告をまとめて説明できるようにしたいと思う。
- 最後になるが、次回協議会の日程については、今のところ10月18日の木曜日を候補して予定している。

(以上)